

国際エネルギーフォーラム拠出金

令和4年度概算要求額 0.3億円 (0.3億円)

事業の内容

事業目的・概要

- 70か国の産油国・消費国がエネルギー市場の安定等について対話する場である国際エネルギーフォーラム（IEF）を通じて、国際石油市場の安定・透明化を進め、我が国のエネルギー安全保障を強化します。

1. IEF閣僚会合の開催

- 近年の石油価格の乱高下を受け、産油国と消費国の対話を通じたエネルギー市場の安定化を実現するため、IEF閣僚会合が開催されます。IEF事務局のあるサウジアラビア等の主要産油国がIEFを重視する中、IEFにおけるリーダーシップの発揮は資源外交の観点からも重要であり、我が国はIEF理事国として同会合の開催に積極的に貢献します。

2. 国際機関共同データイニシアティブ（JODI）事業

- 市場の透明性を高め、需給を反映した価格形成を目指すため、各国の石油や天然ガスの生産、流通に関する最新のデータを、統一されたフォーマットで収集整備し、公表します。

成果目標

- IEFでの産油国・消費国の閣僚級の対話や石油・天然ガスに係る統計の整備、市場透明性の向上への取組を通じて、国際石油市場の安定に貢献するとともに、我が国のエネルギー安全保障の強化を目指します。
- 令和12年度までに、国連加盟国を網羅する石油統計を整備すること（JODI OILへの参加率100%）を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

IEF閣僚会合

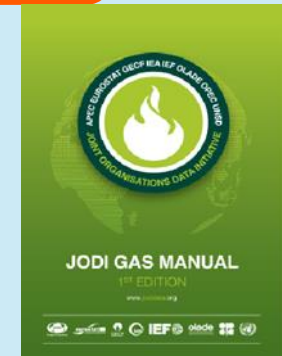
(第16回閣僚会合)



国際機関共同データイニシアティブ（JODI）



(JODI OIL)



(JODI GAS)